

科目名		担当責任者	
母子療養支援特論Ⅱ		椎葉美千代、渡邊晴美	
Special Lecture on Maternal and Child Nursing Ⅱ			
標準履修年次	必修選択別	単位数	科目ナンバー
1年・後期	選択	2単位	9I502
授業の概要(ねらい)			
<p>母子の健康問題を成長発達、家族・社会環境、周産期医療の観点から概観し、課題を探究する。安全・安心できる出産・育児の課題及び障害があるゆえに療養生活をする子どもと家族の課題と保健・医療・福祉システムと連携したケアの在り方について探究する。</p> <p>本科目は、母子看護の実務を経験をした教員による授業である。</p>			
授業の到達目標			
<p>【ディプロマポリシーとの関連:①②】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.周産期における健康の維持・増進ならびにリスク予防と回復のためのケアの在り方を探究できる。 2.出産年齢の高齢化やハイリスク妊娠、低出生体重児の増加という問題を踏まえ安全・安心な出産への看護実践に関する課題を探究できる。 3.周産期医療システムや地域の保健・医療・福祉システムとの連携を探究できる。 4.慢性疾患や障害を持つ子どものように長期にわたる療養生活を送る子どもと家族が且つ適切な最良なケアを受けられるよう保健・医療・福祉システムとの連携を探究できる。 			
成績評価の方法および基準			
<p>プレゼンテーションの内容により評価する(100%)。</p> <p>プレゼンテーションの内容は発表後にフィードバックを行う。</p> <p>評価はルーブリックにより行う。</p>			
教科書		参考書	
適宜紹介する。		特になし。	
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容およびそれに必要な時間			
<p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回の講義テーマについて事前学修をし、そのプレゼンテーションを行う。 <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のノートや配布資料は時系列でファイリングし、講義やディスカッションをした内容を整理して講義テーマの再構築を行う。 <p>【必要時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該期間に30時間以上の予習・復習が必要である。 			
その他履修上の注意事項			
この科目とディプロマポリシーとの関連をカリキュラム・マップを参照し、理解すること。			

回数	担当者	授業内容
1	椎葉美千代	母子保健統計からみた周産期看護の課題
2	椎葉美千代	周産期における保健・医療・福祉システム
3	椎葉美千代	院内助産システム
4	椎葉美千代	ハイリスク妊娠の予防と支援
5	椎葉美千代	授乳支援システム
6	椎葉美千代	周産期における心理的問題
7	椎葉美千代	周産期におけるリスクマネジメント
8	椎葉美千代	周産期における保健・医療・福祉システムの連携
9	渡邊晴美	NICU/GCUケアと保健・医療・福祉システムの連携
10	渡邊晴美	障害を持つ子どものケアと親の障害受容
11	渡邊晴美	障害を持つ子どものケアと保健・医療・福祉システムの連携
12	渡邊晴美	慢性疾患を持つ子どものケアと保健・医療・福祉システムの連携
13	渡邊晴美	AYA世代と保健・医療・福祉システムの連携
14	渡邊晴美	在宅療養する子どものケアと保健・医療・福祉システムの連携
15	渡邊晴美	小児看護の文献検討